



CONTENTS

- トピックス
- 新年度のご挨拶
- 産学官連携・知的財産本部
- 産学地域連携課の取組
- 新任スタッフの挨拶
- 地域共生研究開発センター・スタッフ

- 企業向け公募情報
- イベント情報



<トピックス>

1. 地域共生研究開発センターのメンバーが大幅に変更になりました。本号は、新メンバーの紹介特集です。
2. 地域共生研究開発センターの事務担当が産学地域連携課として改組され、同じ建屋内に常駐することになりました。
3. ノムラいきいきフェアとちぎ2007（マロニエプラザ）に宇都宮大学から杉田昭栄教授、山口ひとみ准教授、尾崎功一准教授の研究内容を出展し、多くの方が来場下さいました。（4月7・8日）

新年度のご挨拶



宇都宮大学
地域共生研究開発センター
センター長
石井 清

従来の3組織を統合した地域共生研究開発センターが発足して2年が経過しました。本センターは、宇都宮大学の先端研究と特徴研究を学外に広く発信するとともに、産官学と連携して共同研究体制を組み、地域社会の活性化に貢献することを大きな目的としています。そのため、昨年新設された「知的財産センター」と完全連携をし、また客員教授として、弁護士、弁理士、企業経営者等の経験豊かな17名のスタッフをお迎えし、センター機能の充実を図ってきました。技術相談、共同研究、知的財産権、技術移転などに関するあらゆる相談に、「ワンストップソリューション」を第一目標に掲げて応じております。まずは、お気軽にご相談下さい。

昨年には、本学が「大学の地域貢献度No.1」（東京都を除く全国国公立大学に対する日経グローバル調べ（日経2006年6月5日号））と評価されました。これはひとえに皆様方の日頃のご支援の賜と存じ、心よりお礼申し上げます。本年度より、センター長、コーディネーション・リエゾン部門長、産学官連携コーディネーターのメンバーが交代になりましたが、スタッフ一同変わらぬ気持ちでセンター運営に邁進してまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い致します。

産学官連携・知的財産本部



2005.4
地域共生研究開発センター

- 大学院VBL部門
- コーディネーション・リエゾン部門(センター窓口)
- 客員部門

完全一体連携

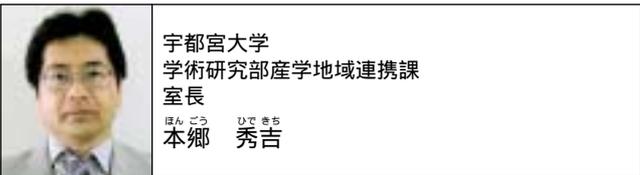
2006.4
知的財産センター

- 評価・活用部門
 - 出願、権利化
 - 発明価値評価
 - 活用(TLO的機能)
- 契約・管理部門
 - 契約、交渉
 - 教育、啓発

2006.4
産学官連携・知的財産本部

産学地域連携課

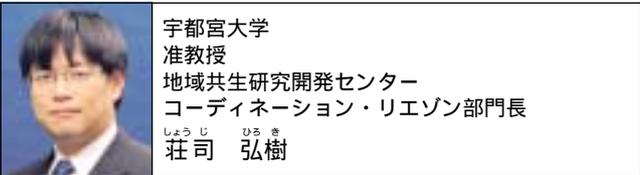
< 産学地域連携課の取り組み >



宇都宮大学
学術研究部産学地域連携課
室長
ほんご ひでき
本郷 秀吉

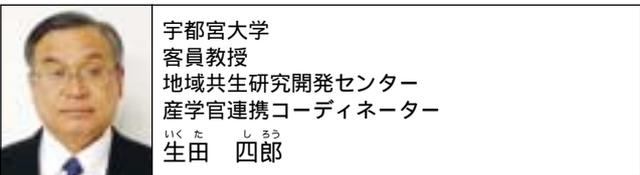
大学は教育と研究を本来の使命としてきましたが、社会情勢の変化とともに大学に期待される役割が変化しつつあり、現在においては、研究成果の事業化・技術移転等を通じて知の社会還元を行なうことが「第三の使命」として求められるようになりました。本学も、企業等との産学連携に対する事務窓口の整備化を図ることとなり、平成19年4月から学術研究部の関連所掌事務の組織替えとなりました。研究推進担当を研究国際課（新規）に移行し、産学連携担当と地域連携担当は産学地域連携課（新規）に移行となり、さらに産学連携担当を地域共生研究開発センターと同じ建屋内に分室（3名配置）を開設し、峰地区とともに担当することとなりました。みなさまとともに、産業界と連携して共同研究等の体制づくりに取り組んでまいりたいと思っています。

< 新任スタッフの挨拶 >



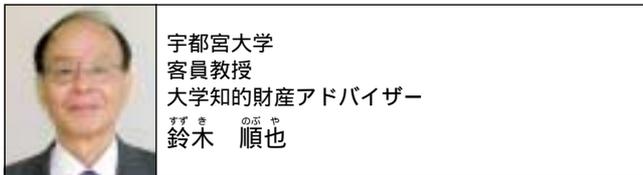
宇都宮大学
准教授
地域共生研究開発センター
コーディネーション・リエゾン部門長
しょうじ ひろき
庄司 弘樹

平成19年4月に地域共生研究開発センターのコーディネーション・リエゾン部門に着任いたしました庄司です。平成17年度の本学の相談窓口の一本化以降、当センターが窓口となって受け付ける相談が年々増加しております。これも皆様のご理解によるものと感謝申し上げます。今後も、技術相談、共同研究、助成金申請のお手伝い等様々なご相談をお受けしたいと思います。一方で、相談内容が高度かつ専門的で、相談分野も幅広くなってきております。そこで、本学だけでなく様々な機関との連携をとりながら、皆様のご相談に適切にお応えし、地域の企業が活発にそして効率的に新事業を生み出しているような仕組みを考えたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



宇都宮大学
客員教授
地域共生研究開発センター
産学官連携コーディネーター
いくた しろう
生田 四郎

今年の4月から河井コーディネーターの後任として文科省から配属されました生田です。この地域共生研究開発センターでは技術相談を中心に活動し、自治体と地域と宇都宮大学との技術連携を開発・促進する役目を務めます。以前私は栃木県の民間企業に身を置いておりましたが、その頃、学会報告以外には大学内の技術情報が民間企業へ届くことは少なかったと思います。また、企業の抱える技術課題やニーズも大学へ持ち込むことも無かったように思います。今年はワンストップソリューションを念頭に大学の先生と民間企業の方が互いに顔が見えるような企画を作成する予定です。どのような分野のご相談にも対処できるように努力しますのでお気軽に申し込み下さい。



宇都宮大学
客員教授
大学知的財産アドバイザー
すずき のぶよし
鈴木 順也

はじめまして。平成19年4月1日に工業所有権情報・研修館から宇都宮大学に大学知的財産アドバイザーとして派遣されました鈴木順也です。日本電気知的財産部・中央研究所等で30年間ほど知的財産関連にタッチし、定年後の平成16年から3年計画で福井大学の知的財産マネジメント体制構築を行ってきました。今回、宇都宮大学にお世話になることになりました。よろしくお願ひいたします。

宇都宮大学の特徴を活かし、宇都宮大学に見合った知的財産マネジメント体制（研究・教育の源流や発明の発掘・出願から知的財産活用までの全体を俯瞰でき、かつ活動全体の情報・ノウハウを内部蓄積し共有できるシンプルな体制）構築を目指して、少しでもお役に立てればと考えています。

皆様方のご指導とご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

地域共生研究開発センター・スタッフ

- | | | | | |
|-------------------|--------|------|--|--|
| センター長 | 石井 清 | 教授 | | |
| 副センター長 | 白石 和男 | 教授 | | |
| 副センター長 | 山村 正明 | 教授 | | |
| 大学院VBL部門長 | 白石 和男 | 教授 | | |
| 基礎研究領域室長 | 平谷 和久 | 教授 | | |
| 連携研究領域室長 | 馬場 敬信 | 教授 | | |
| 先端計測分析室長 | 鈴木 昇 | 教授 | | |
| 専任教員 | 関 桂 | 准教授 | | |
| 技術専門職員 | 長谷川 和壽 | | | |
| 技術専門職員 | 六本木 誠 | | | |
| コーディネーション・リエゾン部門長 | 庄司 弘樹 | 准教授 | | |
| 共同研究支援室長 | 庄司 弘樹 | 准教授 | | |
| 広報室長 | 山村 正明 | 教授 | | |
| 産学官連携コーディネーター | 生田 四郎 | 客員教授 | | |

< 企業向け公募情報 >

- NEDO技術開発機構
「イノベーション実用化助成事業」
公募期間：H.19.4.9～H.19.6.13
補助金額：助成率 2/3、上限1億円/年
対象：一般企業（資本金300億円以下）
目的：福祉用具法に基づく福祉用具開発
期間：3年度以内
詳細：URL <http://www.nedo.go.jp/>

< イベント情報 >

- 宇都宮大学オープンキャンパス
開催日：H.19.7.21（土）
会場：宇都宮大学 峰キャンパス・陽東キャンパス
対象：一般、中高生

連絡先

宇都宮大学 地域共生研究開発センター 広報室

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号
TEL 028-689-6316 / FAX 028-689-6320
E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
URL: <http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp/chiiki>